

愛知県指定管理者等選定委員会選定結果一覧表（公募第1期分）

部局名	公募施設名	応募団体数	選定結果（総合評点及び順位）					選定理由				
			指定管理者候補者		2	3	4		5			
			1	(評点)								
県民生活部	1 女性総合センター	1	コングレ・愛知グループ ((株)コングレ・(公財)あいち男女共同参画財団・昭和建物管理(株)の共同体)	87.3								<ul style="list-style-type: none"> 本施設10年間の管理運営実績や提案書に記載された内容から、施設の設置目的及び役割を十分に理解しており、適正かつ安定した施設管理運営を行う能力を有すると判断できる。 利用者サービスの向上及び利用促進策については、Wi-Fiエリアの設置など利用者ニーズを反映させた提案内容となっていることや、レストラン及び売店用スペースを活用した自主事業を始め各種自主事業を実施することにより、施設の活性化及び利用者サービスの向上が図られ、利用促進が期待できる。 経費については、管理的経費が上昇していく中で、さらなる経費縮減への取組や利用料金収入を確保させるための新たな取組を実施していくことで、前回に比べ税抜きで指定管理料の縮減を図っている。
環境部	2 弥富野鳥園	1	公益財団法人愛知公園協会	84.7								<ul style="list-style-type: none"> 野鳥園及び類似施設に関する豊富な管理運営実績を有し、そこで培われた園地管理技術や利用者ニーズの分析などの能力は、今後の管理運営においても十分発揮することができる。また、施設の設置目的を十分に理解した施設管理の提案がなされている。 施設運営にあたっては、利用者ニーズを反映して、単眼スコープや双眼鏡を増設するなどサービス向上に向けた取組を行うとともに、利用促進策は従来の改善策を踏まえた継続的な取組に加え、学校等利用の働きかけの全県への拡大による団体利用者の増加などに着実に取り組むこととしており、一定の評価ができる。 前回は上回る提案額であるが、人件費や老朽化が進む施設の修繕費の増加、光熱水費の高騰などによるものであり、また、警備費などの委託業務の長期契約導入による経費縮減に取り組むこととしていることから、一定の努力は認められ、効率的な管理運営が期待できる。
産業労働部	3 愛知勤労身体障害者体育館	2	社会福祉法人祖父江愛照会	83.3	B団体	79.5						<ul style="list-style-type: none"> 本施設や社会福祉施設などの運営について豊富な経験・実績を有しており、利用者ニーズを踏まえ、安全性や快適性に留意した管理運営が行われるとともに、スポーツ大会の拡充や新たな自主事業の実施など利用者に対するサービス向上や施設の利用促進策にも積極的に取り組むことから、効果的な運営が期待できる。 前回は上回る提案額であり、最低の提案額ではないが、光熱水費の高騰などによるものであり、また、利用者の有無に応じた館内照明の節電、環境整備等は法人本部との協働体制で行うなど経費縮減に取り組む、効率的な運営が期待できる。 現行の正規職員の3名に加え、新たにスポーツ指導できる身体障害者の雇用により、人員体制の充実を図るとともに、指導員のさらなる技能向上も図ることとしており、より適正な運営が見込まれる。
建設部	4 牧野ヶ池緑地	1	公益財団法人愛知県都市整備協会	87.5								<ul style="list-style-type: none"> 多角的な視点による安全の確保や来園者の意識向上に向けた「遊具の安全強化月間」の取組など、利用者の安全確保に向けた取組を充実するとともに、利用者サービス向上や利用促進に向けた様々な取組が提案されており、効果的に設置目的を達成できるものと考えられる。 柔軟な運営体制の構築、維持管理作業による発生材の再利用、新電力の活用など、経費縮減に対する着実な取組となっており、効率的な管理運営が期待できる。 県営公園の管理運営実績が豊富であり、本部と管理事務所との役割分担など業務執行体制が確立されており、職員の資格取得支援など人材育成方針も適切であることから、適正かつ確実な業務遂行が期待できる。
	5 木曾川祖父江緑地	2	岩間造園株式会社	87.2	B団体	79.3						<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全確保に向け、遊具の日常点検講習を全職員が受講するなど、新たな取組を実施することに加え、フリーWi-Fiサービスの提供による利用者サービスの向上や砂丘地帯にある本公園の特性を活かした利用促進、地域との協働や教育機関との連携強化など、これまでの実績に満足せず積極的な改善を図っており、効果的に設置目的が達成できると考えられる。 最低の提案額ではないが、職員のマルチスタッフ化、維持管理の一層の直営化、施設の長寿命化など、経費縮減に対する着実な取組となっており、従前に比べて効率的な管理運営が期待できる。 県営都市公園のほか、他の自治体の複数の公園施設の管理運営実績があり、特に植物・芝生管理は長年の実績がある。また、本社機能と管理事務所機能の役割分担など業務執行体制が確立され、人材育成の取組も充実しており、適正かつ確実な業務遂行が期待できる。
	6 下水道科学館	2	A&A下水道科学館 ((公財)愛知水と緑の公社・アクティオ(株)の共同体)	86.5	B団体	80.2						

